

引用文献

- Anderson, M. (1992) *Intelligence and development: A cognitive theory*. Oxford: Blackwell.
- 青木邦夫 (2005) 高校運動部員の社会的スキルとそれに関する要因. 国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要, 5: 25-34.
- Bar-On, R. (1997) *The Emotional Quotient Inventory (EQ-i) : Technical manual*. Toronto, Canada: Multi-Health Systems, Inc.
- 中日新聞 (2013) ただ今就活中. 2013年10月29日中日新聞朝刊.
<https://edu.chunichi.co.jp/gakusei/?p=5184#more-5184>
- ダニエル・ゴールマン (1996) 土屋京子 (訳) EQ～こころの知能指数～. 講談社: 東京.
- Davies, M., Stankov, L. & Roberts, R. D. (1998) Emotional Intelligence: In search of an elusive construct. *Journal of Personality and Social Psychology*, 75, 989-1015.
- 遠藤由美 (1999) 自尊感情. 中島義明他 (編), 心理学事典, 有斐閣: 東京, 343-344.
- 藤生光恵・高野進・吉川政夫 (2000) スポーツ経験と Emotional Intelligence の関係ー東海大学男子スポーツ選手の競技種目別特徴ー. 東海大学体育学部紀要, 30: 79-83.
- 藤原正博 (1981) 自我同一性と自尊感情の関係. 遠藤辰雄 (編), アイデンティティの心理学, ナカニシヤ出版: 京都, 85-89.
- Gardner, H. (1983) *Frames of mind: The theory of multiple intelligences*. Basic Books. ガードナー, H. (2001) 松村暢隆 (訳) MI: 個性を生かす多重知能の理論. 新曜社: 東京.
- Goleman, D. (1995) *Emotional intelligence.: Why it can matter more than IQ*. Bloomsbury: London.
- 橋本健夫・川越明日香・谷山麻香 (2012) 児童の学習意欲の喚起と授業実践. 長崎大学教育学部紀要:教科教育学, 52:11-19.
- Hodge, K. and Danish, S. J. (1999) Promoting life skills for adolescent males through sport. In: Horne, A. and Kiselica, M. (Eds.) *Handbook of counseling boys and adolescent males*. Sage: Thousand Oaks, CA, 55-71.

- 本多恭子・森本恵子（2008）女子大学生の食行動と情動知能（EQ）との関係について－食行動とEQの専攻別比較－. 家政学研究, 55: 1-7.
- 井上百愛・三木ゆふ・関矢寛史（2009）5因子モデルによる運動経験とパーソナリティに関する研究. 広島大学大学院総合科学研究科紀要, I, 人間科学研究, 4: 11-17.
- 石黒正人（2008）学生アスリートのライフスキルに関する研究－場面によるスキル発揮の差異に着目して－. 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学研究領域修士論文.
- 川畑愛義（1974）体育学研究としての発育発達. 体育学研究, 19(1): 1-19.
- 経済産業省（2006）社会人基礎力に関する研究－「中間とりまとめ」－.
- 菊池章夫（1988）社会的スキルのこと「思いやりを科学する－公社会的行動の心理とスキル－」. 川島書店: 187-204.
- 岸本陽一（2008）運動部学生のパーソナリティ特徴－社会的技能及び情動知能－. 日本パーソナリティ心理学発表論文集, 17: 142-143.
- 厚生労働省（2004）若年者の就職能力に関する実態調査結果.
- 松野光範・来田宣幸・横山勝彦（2010）「ライフスキル教育」開発プロジェクトの実践と課題－「硬式野球部」の取り組み事例として－. 同志社スポーツ健康科学, 2: 61-72.
- Mayer, J. D., and Salovey, P. (1995) Emotional Intelligence and the construction and regulation of feelings. *Applied & Preventive Psychology*, 4, 197-208.
- Mayer, J. D., and Salovey, P. (1997) What is emotional intelligence?. In P. Salovey & D. Sluyter(Eds.), *Emotional development and emotional intelligence : Educational implications*, Basic Book: New York, 3-34.
- Mayer, J. D., Caruso, D. R., & Salovey, P. (1999). Emotional intelligence meets traditional standards for an intelligence. *Intelligence*, 27, 267-298.
- Mayer, J. D., Caruso, D., & Salovey, P. (2000) . Emotional intelligence meets traditional standards for an intelligence. *Intelligence*, 27, 267-298.
- Mayer, J. D., Salovey, P., & Caruso, D. (2002) . *Technical manual for MSCEIT v. 2.0*. Toronto, Canada: Multi-Health Systems.

- McCrae, R. R. (2000) Emotional Intelligence from the perspective of the five-factor model of personality. In Bar-On, R., & Paeker, J. D. (Eds.), *The Handbook of Emotional Intelligence*. San Francisco: Jossey-Bass, 263-276.
- Messick, S. (1992) Multiple intelligences or multilevel intelligence? Selective emphasis on distinctive properties of hierarchy: On Gardner's Frames of mind and Sternberg's Beyond IQ in the context of theory and research on the structure of human abilities. *Journal of psychological Inquiry*, 1, 305-384.
- 皆川直凡・片瀬力丸・大竹恵子・島井哲志 (2010) 児童用情動知能尺度の開発とその信頼性・妥当性の検討. 鳴門教育大学研究紀要, 25: 31-37.
- 文部科学省 (編) (2004) 小学校学習指導要領[改訂版]. 国立印刷局: 105.
- 文部科学省 (2011a) 子どもたちのコミュニケーション能力を育むために～「話し合う・創る・表現する」ワークショップへの取組～. コミュニケーション教育推進会議審議経過報告. (http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/08/1310607.htm)
- 文部科学省 (2011b) 平成 22 年度体力・運動能力調査結果の概要及び報告書について－調査結果の特徴青少年(6～19 歳)－. http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2011/10/11/1311810_6.pdf
- 文部科学省 (2012) 平成 18 年以降のいじめ等に関する主な通知文と関連資料. 文部科学省初等中等教育局児童生徒課／国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター. (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302904.htm)
- 森博文・岸本肇・廣瀬勝弘・栗原武志 (2004) 教職経験年数の違いによる授業観察時の思考の差異－同時発話プロトコルの分析から－. 日本体育学会大会号, 55: 602.
- 守屋志保・島本好平・福林徹・石井源信 (2011) 情動知能が心理的競技能力に与える影響－女子バスケットボール選手を対象として－. *スポーツ心理学研究*, 38(1): 13-24.
- 村上宣寛・村上千恵子 (1997) 主要 5 因子性格検査の尺度構成. *性格心理学研究*, 6(1): 29-39.
- 中川泰彬・大坊郁夫 (1985) 日本版 GHQ 精神健康調査票. 日本文化科学者.
- 中川靖彦・新井肇 (2008) 「生きる力」を育てる中学校運動部活動の教育的機能に関する研究. *日本教育心理学会総会発表論文集*, 50: 546.

- 中村和彦（1994）こんなに変わった子どもの遊び－3世代にわたる子どもの遊び調査の結果から（あそびのすすめく特集＞）．教育と情報，436: 2-7.
- 並河裕（1996）ライフスタイル要因からみた運動経験者に関する研究－過去の運動経験とライフスタイル要因との比較－．琉球大学教育学部紀要第一部・第二部,48: 303-313.
- Newman,B,M. and Newman,P,R.（1984）*Development through life:A psycho-social approach*.3rd ed. Dorsey
- 西垣景太・吉川政夫（2009）中学生の運動部活動経験がもたらす自己効力感と情動知能の発達．東海大学体育学部紀要，38: 153-160.
- 丹羽劭昭（1990）．社会性の発達と遊びやスポーツ．教育と医学 慶應通信，38(11): 39-45.
- Petrides, K. V., & Furnham, A.（2000）A Gender differences in measured and self-estimated trait emotional intelligence, *Sex Roles*, 42, 449-461.
- 齋木あかね・中井隆司（2001）体育授業における教師の実践的知識に関する研究－イメージマップ・テストによる知識構造の検討－．日本スポーツ教育学会第20回記念国際大会論集: 359-364.
- 斉藤耕二（1994）他人の感情を理解する．菊池章夫・堀毛一也（編著）「社会的スキルの心理学」川島書店:東京, 41-43.
- 齋藤誠一（2004）「思春期」という時期 - 難しい年ごろを知る - ．児童心理 814, 11: 10-15.
- 酒井久実代（2007）情動認識力が他者認識力に与える影響．日本女子体育大学紀要, 37: 1-8.
- 坂元忠芳（2000）情動知感情の教育学．大月書店：東京．
- Salovey, P., and Mayer, J. D.（1990）Emotional intelligence. *Imagination, Cognition and Personality*, 9: 185-211.
- Salovey, P., Rothman, A. J., Detweiler, J. B., & Steward, W. T.（2000）Emotional state and physical health. *American Psychologist*, 55, 110-121.
- Schutte, N. S., Malouff, J. M., Hall, L. E., Haggerty, D. J., Cooper, J. T., Golden, C. J., & Dornheim, L.（1998）Development and validation of measure of emotion intelligence. *Personality and Individual Differences*, 25, 17-177.

- 島本好平・石井源信（2009）体育授業におけるスポーツ経験がライフスキルの獲得に与える影響－運動部所属の有無からの検討－. スポーツ心理学研究, 36: 127-136.
- SSF 笹川スポーツ財団(2006)青少年のスポーツライフ・データ 2006 - 10 代のスポーツライフに関する調査報告書 - . 笹川スポーツ財団, 38.
- Sternberg, R. J. (1997) *Successful Intelligence*. New York: Plume.
- 須田和也（2011）大学生の社会的スキルとスポーツ経験および運動有能感に関する研究. 共栄大学研究論集, 第 9 号: 37-53.
- 須藤泰男（1974）運動・スポーツと性格の研究. 教育心理, 2(9): 662-667.
- 杉山佳生・渋谷崇行・西田保・伊藤豊彦・佐々木万丈・磯貝浩久（2008）学校体育授業を通じたライフスキル教育の現状と課題. 健康科学, 30: 1-9.
- 高木英樹・真田久・坂入洋右・嵯峨寿（2006）スポーツマンに必要な人間力とは何か?. 大学体育研究, 28: 33-42.
- 高木英樹・緒形ひとみ・真田久・坂入洋右・嵯峨寿（2008）大学生アスリートの持つ人間力の特徴－情動知能尺度（EQS）からみた一考察－. 大学体育研究, 30: 23-33.
- 竹之内隆志・田口多恵・奥田愛子（2006）中学ならびに高校運動選手のパーソナリティ発達: 自我発達を指標とした検討. 体育学研究 51(6): 757-771.
- Thorndike, E. L. (1914) *Educational Psychology: Briefer Course*. New York: Teachers College, Columbia University.
- Thorndike, E. L. (1920) Intelligence and its uses. *Haper's Magazine*, 140, 227-235.
- 徳永幹雄（1981）. 運動経験と発育・発達に関する縦断的研究. 健康科学, 3: 3-14.
- 豊田弘司・森田泰介・金敷大之・清水益治（2005）日本版 ESCQ（Emotional Skills & Competence Questionnaire）の開発. 奈良教育大学紀要, 54: 43-47.
- 豊田弘司・島津美野（2006）主観的随伴経験と情動知能が感情に及ぼす影響. 奈良教育大学紀要, 55: 27-34.
- 豊田弘司・桜井裕子（2007a）中学生用情動知能尺度の開発. 奈良教育大学教育実践総合センター研究紀要, 16: 13-18.
- 豊田弘司・大賀香織・岡村季光（2007b）居場所（「安心できる人」）と情動知能が孤独感に及ぼす効果. 奈良教育大学紀要, 56: 41-45.
- 豊田弘司・森田泰介・岡村季光・稲森涼子（2008）大学生における他者意識と情動知能の関係. 奈良教育大学教育実践総合センター研究紀要, 17: 29-34.

- 豊田弘司・山本晃輔(2011)日本版 WLEIS(Wong and Law Emotion Intelligence Scale)の作成. 奈良教育大学教育実践総合センター研究紀要, 20: 7-12.
- 辻平治郎(1993)自己意識と他者意識. 北大路書房: 京都.
- 上野耕平・中込四郎(1998)運動部活動への参加による生徒のライフスキル獲得に関する研究. 体育学研究, 43: 33-42.
- 上野耕平(2011)体育・スポーツ活動への参加を通じたライフスキルの獲得に関する研究の現状と今後の展望. スポーツ心理学研究, 38(2): 109-122.
- 植屋清見・小河内淳司(2000)小学校教員の小学校体育及び体育授業に関する実態—平成11年度山梨県教育職員免許法認定講習会から—. 教育実践学研究:山梨大学教育人間科学部附属教育実践研究指導センター研究紀要, 5: 13-24.
- 内山喜久雄(1997). 「EQ その潜在力の伸ばし方」講談社: 東京.
- 内山喜久雄・島井哲史・宇津木成介・大竹恵子(2001)EQS マニュアル. 実務教育出版: 東京.
- 和田さゆり(1996)性格特性用語を用いた Big Five 尺度の作成. 心理学研究, 67: 61-67.
- Wechsler, D. (1956) *The measurement and appraisal of adult intelligence*. Ed. 4 The Williams & Wilkins Co. . 茂木茂八他訳(1972)成人知能の測定と評価—知能の本質と診断—日本文化科学社.
- Weiss, M. R. (1995) Children in sport: An educational model. In Murphy, S. M. (Ed.) *Sports psychology interventions Human Kinetics*: Champaign, IL, 35-69.
- Wong, C. S., & Law, K. S. (2002). The effects of leader and follower emotional intelligence on performance and attitude: An exploratory study. *The Leadership Quarterly*, 13, 243-274.
- Wong, C. S., Law, K. S., & Wong, P. M. (2004). Development and validation of a forced choice emotional intelligence measure for Chinese respondents in Hong Kong. *Asia Pacific Journal of Management*, 21, 535-559.
- Wong, C. S., Foo, M. D., Wang, C. W., & Wong, P. M. (2007). The feasibility of training and development of EI: An exploratory study in Singapore, Hong Kong and Taiwan. *Intelligence*, 35, 141-150.
- 山口創(2005)「触れる」ことと心の発達—脳・身体・心のつながり—. 児童心理 No,829 9: 107-113. 金子書房: 東京.

山本真理子・松井豊・山成由紀子（1982）認知された事故の諸側面の構造．教育心理学研究．30：64-68．